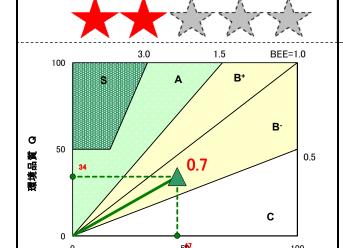
【八SBEE 熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)株式会社平島御船工場	階数	地上1階、地下0階	
建設地	熊本県上益城郡御船町大字高木字	構造	S造	
用途地域等	都計外(準都計外)	平均居住人員	40 人	
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年	
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年6月20日	
敷地面積	38,166 m ²	作成者	杉山聡	
建築面積	8,802 m ²	確認日	2025年7月30日	
延床面積	8,653 m ²	確認者	平島彰吾	



2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



環境負荷 L

BEE = 0.7

■環境効率評価基準

ランク ランク表示 評価		判定値		
727	プング表示	計皿	BEE値	Q値
S	****	素晴らしい	3.0以上	50以上
Α	****	大変良い	1.5以上3.0未満	-
B ⁺	***	良い	1.0以上1.5未満	
B-	**	やや劣る	0.5以上1.0未満	_
С	*	劣る	0.5未満	_

■ライフサイクルCO2 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	****
30%超60%以下	***
60%超80%以下	***
80%超100%以下	**
100%超	*

■ ライフサイクルCO 排出性能(ランク表示)

排出率

#DIV/0!

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

評価点

65







【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】循環型社会の実現

評価点

62.5

58.3

67.8

■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	66666
80点以上100点未満	6666
60点以上80点未満	666
40点以上60点未満	6 6
40点未満	•

73.5

※評価点は、100点以上が推奨です。

【八\$BEE[®]-建築(新第 ▮評価結果

新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)







- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■C: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
- ■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい

水色セル欄に数値やコメントを記入

⇒Q1~Q3シートやLR1~LR3シートにおける<u>採点の根拠に倣って、要旨を記入</u>してください

スコ	アシー	+	実施設計段階						
配慮	項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
			境品質		ļ				2.3
Q1 :						-		-	-
1 1	音環均				-	-	-	-	-
			経音レベル		-	-	-	-	
	1.2	遮音	明己如本文件外		-	-	-	-	
			開口部遮音性能 界壁遮音性能		-	-		-	
			界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-		-	
			界床遮音性能(重量衝擊源)			_		_	
-	1.3	吸音	51.你是自任化(主主因手师/		-	_		_	
2	温熱球				-	-	-	-	_
ľ		室温制	御		-	-	-	-	
			室温		-	-	-	-	
			外皮性能		-	-		-	
		3	ゾーン別制御性		-	-	-	-	
		湿度制			-	-		-	
		空調方	式		-	-	-	-	
3 :	光·視				-	-	-	-	-
	3.1	昼光和			-	-	-	-	
			<u>屋光率</u>		-	-		-	
			方位別開口		-	-	-	-	
-			昼光利用設備 ****		-	-	-	-	
	3.2	グレア 1	対束 昼光制御		-	-	•	-	
-	2 2	 照度	坐光制脚		_	-		-	
-		照明制	北和			_		_	
4		订環境	3 less		_	_		_	-
_ T		発生源	蒙校		_	-	-	-	
	•••		化学汚染物質		-	_	-	-	
-	4.2	換気	10 1 7 3 7 1 1 1 2 2		-	-	-	-	
			換気量		-	-		-	
			自然換気性能		-	-	-	-	
		3	取り入れ外気への配慮		-	-		-	
	4.3	運用管	管理		-	-		-	
			CO₂の監視		-	-	-	-	
			喫煙の制御		-	-	-	-	
		- ス性1	NE		-	0.43	-	-	3.2
1 4	機能性		+ <i> </i>		-	-	-	-	-
	1.1		<u>E・使いやすさ</u> 広さ・収納性		-	-	-	-	
			高度情報通信設備対応		_	-		_	
			バリアフリー計画		_	_		_	
-	1 2		・ 快適性		-	_			
	1.2		広さ感・景観		-	_	-	_	
			リフレッシュスペース		-	_	-	_	
			内装計画		-	-	-	-	
	1.3	維持管	理		-	-	-	-	
		1	維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	
			維持管理用機能の確保		-	-	-	-	
2 j		生·信頼			2.9	0.50	-	-	2.9
	2.1		免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
			耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
_	•		免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
	2.2		部材の耐用年数		3.2	0.30	•	-	
			躯体材料の耐用年数		3.0 3.0	0.20	-	-	
			外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.20 0.10	_	-	
			空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
			空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.10	-		
				送風機(20年)	4.0	0.20	_	_	
-	24	信頼性	エスは高級品や人がどと同語		2.2	0.20	-	-	
			空調•換気設備		-	-	-	-	
			給排水·衛生設備		1.0	0.25	-	-	
			電気設備		3.0	0.25	-	-	
			機械·配管支持方法		3.0	0.25	-	-	
			通信·情報設備		2.0	0.25	-	-	

3 対応・実施性	-	2 计内性·百年性								
限点のからと)	3								-	3.6
2 世界の原状 自由空 32 点の中心 33 点の 30 点の 33 是限の原理性 30 点の 30 点		3.1				5.0	0.30	•	-	
2 屋町の中以中自由さ 18月3年年 401 3.0 0.0			1	階高のゆとり	階高:3.9m以上。	5.0	0.60	-	-	
3.2 育正のかとり 3.3 設施で影響性 1.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0										
33 登録の更新性 30 0.40 - 1		0.0	_							
1 室別は安の更相性 30 0.20 - 3									-	
2 結果大学の支配性 3.0 0.00 - 1		3.3					0.40	-	-	
2 結果大学の支配性 3.0 0.00 - 1			1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
4 組合配給の支給性 3.0 0.10 - 1			2	給排水管の更新性		3.0	0.20		_	
4 単位性型の更新性 3.0 0.10 1.										
5 旅信機器の更新性 3.0 0.20 - 1										
6 パックアプスペースの確保 3 室外環境を地内) 1 生物現物の保全を割出 2 の 0.00									-	
3 京外環境(収集的) 0.57 1 生物現の保全と割出 1.0 0.30 - 2 生ちなか-景観への配置 2.0 0.40 - 3 1 地域性への配慮 快速性の向上 2.0 0.40 - 3 2 単独内の影音域的上 3.0 0.50 - 3 2 単独内の影音域的上 3.0 0.50 - 3 2 単独内の影音域的上 3.0 0.50 - 3 2 単独内の影音域的 2.0 0.40 - 3 2 単独内の影音域的 2.0 0.40 - 3 2 単独内の影音域的 2.0 0.50 - 3 2 2 単独介の影音域的 2.0 0.50 - 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 京外環境(収集的) 0.57 1 生物現の保全と割出 1.0 0.30 - 2 生ちなか-景観への配置 2.0 0.40 - 3 1 地域性への配慮 快速性の向上 2.0 0.40 - 3 2 単独内の影音域的上 3.0 0.50 - 3 2 単独内の影音域的上 3.0 0.50 - 3 2 単独内の影音域的上 3.0 0.50 - 3 2 単独内の影音域的 2.0 0.40 - 3 2 単独内の影音域的 2.0 0.40 - 3 2 単独内の影音域的 2.0 0.50 - 3 2 2 単独介の影音域的 2.0 0.50 - 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						3.0	0.20	-	-	
1 生物理体の経金会制出	03	安서:						_		1.7
2 まちなか・養養への配慮 2.0 0.40 3.0								-	-	
3 地域性・アメニティへの配産						4		•	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配産	2	まちな	よみ・景	観への配慮		2.0	0.40	•	-	2.0
3.1 地域性への配慮、核菌性の向上 3.0 0.50						2.0	0.30	-	-	2.0
3.2 世地内温泉程度の向上 R	١									
R									-	
IRI						3.0	0.50	•	-	
IRI	LR	建築	物の理	環境負荷低減性			-		-	3.1
1 強体外皮の熱食有抑制										-
2 自然エネルギー利用				M 各 共 im Ai						
3 教像システムの高効率化						-	-	-	-	
# 発音性室以外の評価							-	•	-	-
4 効率的運用	3	設備	システム	の高効率化	[BEI][BEIm] = —	-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価						-	_		_	_
# 1 モニタリング # 1		W)-#-1		ウニダの評価						
42 国用管理体制 1						-	-	•	-	
集合性を2時間			4.1	モニタリング		-	-	-	-	
集合性を2時間			4.2	運用管理体制		_	_	-	-	
A1 モニタリング							_			
42 建用管理体制									-	
RP 養養・マテリアル						-	-	•	-	
RP 養養・マテリアル			4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
1. 水質類保護 3.0 0.20 1.1 節水 3.0 0.40 1.2 雨水利用・維排水等の利用 3.0 0.66 3.0 0.66 1.1 節水利用システム導入の有無 3.0 0.70 2.0 控技水等利用システム導入の有無 3.0 0.70 3.0 0.30 2.2 2.4 証券水利用システム導入の有無 3.0 0.70 3.0 0.30 2.2 2.4 証券水利用システム導入の有無 3.0 0.20 2.1 村料使用量の削減 2.0 0.11 3.0 0.22 2.3 整体材料におけるリナイクル材の使用 3.0 0.22 2.3 整体材料におけるリナイクル材の使用 3.0 0.22 2.3 整体材料におけるリナイクル材の使用 3.0 0.22 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.0 0.2 3.5 操命列用可能性向上への取組み 3.0 0.22 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.0 0.30 3.2 フロン・ハロンの回避 3.0 0.30 3.2 フロン・ハロンの回避 5.0 0.70 1 消火剂 2 発泡剤(断熱材等) 3.0 0.30 3.3 7.0 2.3 整数地外環境 - 0.50 - 1 1 地球温度化への配慮 2.1 大気汚染防止 数機機器を使用していない。 2.2 連絡環境化の改善 2.2 連絡環境化の改善 2.3 地域インラーの負荷抑制 3.0 0.50 2.3 地域インラーの負荷抑制 3.0 0.55 3.0 0.25 3.3 交通負荷抑制 3.0 0.25 3.3 交通負荷抑制 3.0 0.25 3.3 変通負荷抑制 3.0 0.25 3.3 変更負所抑制 3.0 0.40 3.3 悪臭 3.2 0.50 3.3 悪臭 3.3 0.50 3.0 0.40 3.3 悪臭 3.0 0.40 3.0 0.50 3.3 悪妻 3.0 0.50 3	LR2	資源				_	0.50	-	-	2.9
1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用・2 再導性養殖の使用養育機 3.0 0.70									_	3.0
12 雨水利用・雑排水等の利用 3.0 0.60 1 雨水利用システム導入の有無 2 維排水等利門システム導入の有無 3.0 0.70 3.0 0.	,									0.0
1								•	-	
2 排揮水等利用システム導入の有無		1.2	雨水和	川用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
2 排揮水等利用システム導入の有無						3.0	0.70		-	
2 非再生性資源の使用量削減 2.4 0.60										
2.1 材料使用量の削減 2.0 0.11 - 2.0 0.11 - 2.0 0.11 - 2.0 0.22 - 3.0 0.22 - 3.0 0.22 - 3.0 0.22 - 2.0 0.11 - 3.0 0.22 - 3.0 0.22 - 2.0 0.22<		J- = -								2.4
2.2 既存建築躯体等の継続使用 3.0 0.22 3.0 0.22 3.0 0.22 3.0 0.22 3.0 0.22 3.0 0.22 3.0 0.22	2							•	-	2.4
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3.0 0.22						2.0	0.11	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3.0 0.22 1.0 0.22 1.0 0.22 1.0 0.22 1.0 0.22		2.2	既存建	業躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリナイクル材の使用 1.0 0.22					<u> </u>	3.0	0.22		_	
2.5 持続可能な森林から産出された木材 3.0 0.22					_					
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 3.0 0.22 3 汚染物質含有材料の使用回避 4.4 0.20 3.1 有害物質を含まない材料の使用 5.0 0.70 - 1 消火剤							0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						-	-	•	-	
3.1 有害物質を含まない材料の使用		2.6	部材の	再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	•	-	
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3	污染物	物質含4	有材料の使用回避		4.4	0.20	-	-	4.4
3.2 フロン・ハロンの回避										
1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。 5.0 1.00										
2 発泡剤(断熱材等) 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。 5.0 1.00 - LR3 敷地外環境 - 0.50 - 1 地球温暖化への配慮 - - - 2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない。 5.0 0.25 - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 3.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 0.40 - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.40 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 1 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 2 水毒の抑制 3.0 0.30 - 3 3 光素の抑制 3.0 0.30 - 3 3 光素の抑制 3.0 0.30 - 3 3 光素の抑制		3.2				5.0	0.70	•	-	
2 発泡剤(断熱材等) 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。 5.0 1.00 -			1	消火剤		-	-	-	-	
Table Ta					発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	5.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境										
1 地球温暖化への配慮		#L 1-1					0.70			0.0
2 地域環境への配慮 3.3 0.50 - - 2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない。 5.0 0.25 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 2.5 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.2 0.50 - 1 騒音 3.0 0.40 - 2 振動 3.0 0.40 - 3 悪臭 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.40 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 日照田書の抑制 3.0 0.30 - 3 日照田書の抑制 3.0 0.30 -						_	0.50	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない。 5.0 0.25 - - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 3.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 0.40 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 -	1	地球法	温暖化/	への配慮		-	-	-	-	-
2.1 大気汚染防止 燃焼機器を使用していない。 5.0 0.25 - - 2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 3.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音 3.0 0.40 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 -	2	地域E	環境への	の配慮		3.3	0.50	-	-	3.3
2.2 温熱環境悪化の改善 3.0 0.50 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - 3 間辺環境への配慮 3.2 0.50 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 2 振動 - - - 3 悪臭 3.0 0.40 - 3 悪臭 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 3.0 0.30 -					燃焼機器を使用していない。	_			_	
2.3 地域インフラへの負荷抑制 2.5 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 反通負荷抑制 1.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 3.0 0.30 -										
1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 3.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 1.00 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 -		_						•	-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 3.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音・ 3.0 0.40 - 2 振動 - - 3 悪臭 - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 - - 4.4 0.20 -		2.3	地域イ	ンフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25			1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制 3.0 0.25									_	
4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 1 騒音・ 3.0 1.00 2 振動 3 悪臭 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 1 風害の抑制										
3 周辺環境への配慮 3.2 0.50 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 1 騒音・ 3.0 1.00 - 2 振動 - - - 3 悪臭 - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 -								•	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音・ 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - - 3 悪臭 -						1.0	0.25	•	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音・ 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - - 3 悪臭 -	3	周辺	環境への	の配慮		3.2	0.50	-	-	3.2
1 騒音 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 1 風害の抑制 3.0 0.40 - - 2 砂塵の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - -						3.0	0.40		_	
2 振動		0.1								
3 悪臭							1.00	•	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 -						-	-	•	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - 2 砂塵の抑制 - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 -			3	悪臭		-	-	•	-	
1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - -		32				3.0	0.40		_	
2 砂塵の抑制 - - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - -		5.2								
3 日照阻害の抑制 3.0 0.30							0.70	•	-	
3.3 光害の抑制 4.4 0.20						- 1	-	•		
3.3 光害の抑制 4.4 0.20			3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
4.4 0.20		2 2								
平田 大学士 パニン ルウ生物 昭明 の扱いのなるの 東南 徳大洋士 (1997年) 1997年 199		0.3	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	z Jeleniji	光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの全ての配慮事項を満た	7.→	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策している。 たま 対策 ガイト フィンと 仏古 初照 明の 扱いの宝 ての配慮 事項を満た 5.0 0.70 - 0.70			1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ルーススカー・フェント アンドラ アン・ファック アン・ファン・ファック アン・ファン アン・ファン・ファン アン・ファン アン・ファン アン・ファン アン・ファン アン・ファン・ファン アン・ファン アン・ファン アン・ファン・ファン アン・ファン アン・ファン	5.0	0.70	-	-	
					C C V W 0		0.00			
2 展光の建物外壁による反射光(グレア)への対策 3.0 0.30			2	生元の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	•	-	

建物名称 (仮称)株式会社平島御船工場

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果						総合評価点		
重	点事項		評価点	重点事項	50 / E = 1 - E			
	重点項目(配慮	東項目)	スコア	重み 係数	元星指	重み係数	評価配点	
1	温室効果ガス	排出量削減の推進						
	Q1-2.1.2	外皮性能	0.0	0.00				
	Q1-3.1.3	昼光利用設備	0.0	0.00				
	Q1-3.2.1	昼光制御	0.0	0.00				
	LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.00	62.5	0.40	25.00	
	LR1-2	自然エネルギー利用	0.0	0.00				
	LR1-3	設備システムの高効率化	0.0	0.00				
	LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.50				
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.50				
2	安全安心で暮							
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00				
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33	58.3	0.20	11.66	
	Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.20	36.3	0.20	11.00	
	Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.27				
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.20				
3	県の地域資源	の有効活用と保全						
	Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29				
	LR2-1.1	節水	3.0	0.43	67.8	0.20	13.56	
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29				
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00				
4	循環型社会の							
	Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30				
	Q2-3	対応性·更新性	3.6	0.30	73.5	0.20	14.70	
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10	73.3	0.20	14.70	
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
	LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20: スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

印刷:モノクロ 設定済み ・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作: 改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

	・キーホート操作:改行の際は <u>[Alt]キーと</u>	
	計画上の配慮事項	
総合	主要給排水配管は耐用年数が長い材料	を使用している。
Q1 室内環境	評価対象外。	
Q2 サービス性能	階高:3.9m以上。	
Q3 室外環境 (敷地内)	特になし。	
LR1 エネルギー	評価対象外。	
LR2 資源・マテリアル	発泡剤を用いた断熱材等を使用していな	l, v°
LR3 敷地外環境	光害対策ガイドラインと広告物照明の扱い	いの全ての配慮事項を満たしている。
その他	特になし。	